

年間指導計画表(シラバス)

科目名	英語総合Ⅱ	単位数	2単位
		学年等	普通科国際コミュニケーションコース 第2学年

1 学習の到達目標等

<p>学習の 到達目標</p>	<p>英語学習の特質を踏まえ、以下に示す、聞くこと、読むこと、話すこと[やりとり]、話すこと[発表]、書くことの五つの領域別に設定する目標の実現を目指した指導を通して、英語科の定める「知識・技能」「思考・判断・表現」を一体的に育成するとともに、その過程を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を育成する。</p> <p>(1)聞くこと ア 世界の様々な国の日常的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、話し手の意図を把握することができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、話される速さや、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を聞き取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(2)読むこと ア 世界の様々な国の日常的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、書き手の意図を把握することができるようにする。 イ 世界の様々な国の社会的な話題について、使用される語句や文、情報量などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、必要な情報を読み取り、概要や要点を目的に応じて捉えることができるようにする。</p> <p>(3)話すこと[やり取り] ア 世界の様々な国の日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができるようにする。 イ世界の様々な国の社会的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝え合うことができるようにする。</p> <p>(4)話すこと[発表] ア世界の様々な国の日常的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。 イ世界の様々な国の社会的な話題について、使用する語句や文、事前の準備などにおいて、支援をほとんど活用しなくても、聞いたり読んだりしたことを基に、多様な語句や文を用いて、情報や考え、気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができるようにする。</p>
<p>使用教科書 副教材等</p>	<p>『ジーニアス総合英語 第2版』（大修館書店）＜継続使用＞ 『21st Century Communication Listening、Speaking、and Critical Thinking』（National Geographic Learning）＜CT クラス＞ 『The Culture Map』（PUBLIC AFFAIRS）＜AT クラス＞ 『新演習 950 英文法・語法問題』（いっぴな書店）＜全員＞ 世界の諸問題に関する英字新聞、インターネット上の記事等 自主作成教材、</p>

2 評価の観点等

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる世界の様々な国の人々との実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。	世界の様々な国の人々との実際のコミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、世界の様々な国の人々が聞き手、読み手、話し手、書き手であることに配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
評価点	600点	600点	600点

3 評価の計画

学期	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
前期	<p>●「1. 学習の到達目標」に定める(ア)を達成するための学習内容</p> <p><AT クラス></p> <p>Lesson 1 :Low-Context vs High Context Culture</p> <p>Lesson 2: Different Ways of Feedback</p> <p><CT クラス></p> <p>Unit 1 : Small Actions、 Big Results</p> <p>Unit 2 : Connecting to Nature</p> <p><AT クラス></p> <p>Lesson 3 : Cultural Differences in Persuasion</p> <p>Lesson 4: Respect and Power Differences</p> <p><CT クラス></p> <p>Unit 3 :Going Places</p> <p>Unit 4 : Music、 Music Everywhere</p>	<p>・ポートフォリオやワークシートの記述分析</p> <p>・英語によるレポート提出</p>	<p>・ポートフォリオやワークシートの記述分析</p> <p>・英語によるレポート提出</p>	<p>・ポートフォリオやワークシートの記述分析</p> <p>・英語によるレポート提出</p>
	<p>●「1. 学習の到達目標」に定める(イ)を達成するための学習内容</p> <p>1. 教育</p> <p>2. 文化</p> <p>3. 自然</p> <p>4. 法</p> <p>5. 経済</p>			
		300点	300点	300点
	●「1. 学習の到達目標」に定める(ア)を達成するための学習内容	・ポートフォリオやワークシートの記	・ポートフォリオやワークシートの記	・ポートフォリオやワークシートの記

後 期	<AT クラス> Lesson 5 : Decision-Making Processes Lesson 6: Multicultural Trust Building <CT クラス> Unit 5 :Give Thanks Unit 6 : Tell Me Why... <AT クラス> Lesson 7 : Effective Disagreement Lesson 8: Research <CT クラス> Unit 7 :The Livable City Unit 8 : Life Lessons ●「1. 学習の到達目標」に定める(イ)を達成するための学習内容 6. 外交 7. 環境エネルギー 8. 科学技術 9. 異文化を伝える	述分析 ・英語によるレポート提出	述分析 ・英語によるレポート提出	述分析 ・英語によるレポート提出
		300点	300点	300点

4 指導の計画

学期	月	単元及び学習内容	時数
前 期	4	●「1. 学習の到達目標」に定める(ア)を達成するための学習内容	35
	5 6	<AT クラス> Lesson 1 :Low-Context vs High Context Culture Lesson2 : Different Ways of Feedback <CT クラス> Unit 1 : Small Actions、 Big Results Unit 2 : Connecting to Nature ①授業最初の 3 分程度で、10 問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着をさせる。 ②与えられたテーマに対して、興味を持ち、積極的に英語で話そうとする。 ③ペアやグループトークの中で、既習の文法、語彙を用いて、幅広い話題について英語で表現する。 ④140wpm 程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを 5 割程度理解する。 ⑤テーマに沿った単語や必要な表現の運用方法を身に付ける。 ⑥様々な話題について、辞書を使って約8分で 60 語程度の文章を書く。	

<p>7 8 9</p>	<p><AT クラス> Lesson 3 : Cultural Differences in Persuasion Lesson 4: Respect and Power Differences <CT クラス> Unit 3 :Going Places Unit 4 : Music、 Music Everywhere</p> <p>①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。 ②与えられたテーマについて英語で質問したり、他者との対話によって内容理解に積極的に取り組む姿勢を養う。 ③グループによるプレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイの中で、相手に興味を持たせるような表現で、自分の意見などを適切な英語で表現する。 ④140wpm 程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを 6 割程度理解する。 ⑤英語の表現に適した、非言語のコミュニケーション方法を運用する。 ⑥様々な話題について、辞書を使って約8分で 70 語程度の文章を書く。</p> <p>●「1. 学習の到達目標」に定める(イ)を達成するための学習内容</p> <p>1. 教育 2. 文化 3. 自然</p> <p>★ 教育・文化・自然などの観点から各国の「現在」を英語で学ぶことで以下のことができるようになることを「ねらい」とします。</p> <p>① 英語で記事を読んで、必要な情報だけを素早く見つけたり、要約メモをわかりやすく英語でとれるようになる。 ②テーマに対する英語での小講義を聞いて、必要な情報をまとめることができるようになる。 ③①と②で得た情報を回りに英語で書いたり話したりして共有することができるようになる。またその結果、各国の「現在」に関心がもてるようになる。</p> <p>4. 法 5. 経済 6. 外交</p> <p>★ 法・経済・外交という3つの観点からその国について調べることで、各国の「過去」について英語で学び、以下のことができるようになることを「ねらい」とします。</p> <p>①英語で記事を読んで、必要な情報だけを素早く見つけたり、要約メモをわかりやすく英語でとれるようになる。 ②テーマに対する英語での小講義を聞いて、必要な情報をまとめることができるようになる。 ③①と②で得た情報を回りに英語で書いたり話したりして共有することができるようになる。またその結果、各国の「過去」に関心がもてるようになる。</p>	
----------------------	--	--

後 期	<p>10 ●「1. 学習の到達目標」に定める(ア)を達成するための学習内容</p> <p>11 <AT クラス></p> <p>12 Lesson 5 : Decision-Making Processes Lesson 6: Multicultural Trust Building <CT クラス> Unit 5 :Give Thanks Unit 6 : Tell Me Why...</p> <p>①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。 ②与えられたテーマについて積極的に調査し、その内容をペアやグループで共有するなど、主体的に取り組む。 ③グループによるプレゼンテーション、ディスカッション、ロールプレイの中で、相手に伝わりやすい、論理的な構成で、自分の意見などを適切に表現する。 ④140wpm 程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを7割程度理解する。 ⑤より相手に伝わりやすい論理的な文章構成を身に付ける。 ⑥様々な話題について、辞書を用いず約8分で 70 語程度の文章を書く。</p>	35
	<p><AT クラス></p> <p>1 Lesson 7 : Effective Disagreement</p> <p>2 Lesson 8: Research</p> <p>3 <CT クラス> Unit 7 :The Livable City Unit 8 : Life Lessons</p> <p>①授業最初の3分程度で、10問の文法、英作の小テストを解くことで、英語の知識を定着させる。 ②他者の発表を積極的に聞き、その内容に即した質問や、内容が展開するような発言をする。 ③自他の発表において、客観的に評価し、改善を試みる。 ④グループ・個人によるプレゼンテーション、ディスカッション、スピーチにおいて、説得力のある論理的な構成で、自分の意見などを適切に表現する。 ⑤140wpm 程度の速度で話される英語を聞いて、情報や話し手の意向などを 8 割程度理解する。 ⑥与えられたテーマに必要な英語表現、テーマに適した文章構成を身に付ける。 ⑦様々な話題について、辞書を用いず約8分で 80 語程度の文章を書く。</p> <p>●「1. 学習の到達目標」に定める(イ)を達成するための学習内容</p> <p>7. 環境エネルギー</p> <p>8. 科学技術</p> <p>★ 「現在」と「過去」について前期で学んだことを関連付けながら、その国の「未来」について情報を収集し、考えて、英語で発信していくことを「ねらい」とします。そのために以下の「小ねらい」を設定します。</p> <p>① 英語で記事を読んで、必要な情報だけを素早く見つけたり、要約メモをわかりやすく英語でとれるようになる。</p> <p>② テーマに対する英語での小講義を聞いて、必要な情報をまとめることができるようになる。</p>	

	<p>③①と②で得た情報を共有し、各回に出される問いに対する答えを英語で話し合うことができるようになる。またその結果、国際社会の「未来」に関心がもてるようになる。</p> <p>9. 異文化を伝える</p> <p>①1年間で得た情報をポスターとしてまとめることができるようになる。</p> <p>②1年間で得た伝達方略を使って伝えることができるようになる。</p> <p>③他者の発表に対して感想や意見を述べ合うことができるようになる。</p>	
--	--	--

5 その他

<p>【その他】</p> <p>初回の授業で1つ国を決めて、その国についての学習を1年を通して様々な観点から行っていきます。1人1人が違う国を設定し、お互いに情報共有をしていながら、国内外の情勢、文化、課題等について幅広い知識を身に付けていく。</p> <p>そのための手立ては、①設定した国が発行している新聞記事の英訳を毎週1つ読み、それを英語で報告すること、②毎回の授業で紹介されるテーマと問い(例えば、環境問題をテーマにし、あなたの国の水問題を解決するにはどうしたらいいですか?を問いにする)について ICT 機器を活用して調べたり、他教科の先生のところに質問に行ったりして、得た情報を英語でまとめていくこと、③①②を最終的に報告書とプレゼンテーションという形で発信していくことの3つである。</p> <p>この授業で皆さんがまとめた情報や習得した言語発信スキルは3年生になって行われる予定の「模擬国連」と「卒業課題研究論文」に活用されていきます。また ALT の先生からは1年次に身に着けた言語発信スキルを更にレベルアップさせ、高度な英語コミュニケーションを行うことができるようになるために、様々なコミュニケーション方略や言語表現の教授を受ける。</p>
--